

ダウンロードしたプログラムを実行するための手順 (.exe の「許可する」設定方法)

例 ブロックプログラミングが起動しない場合

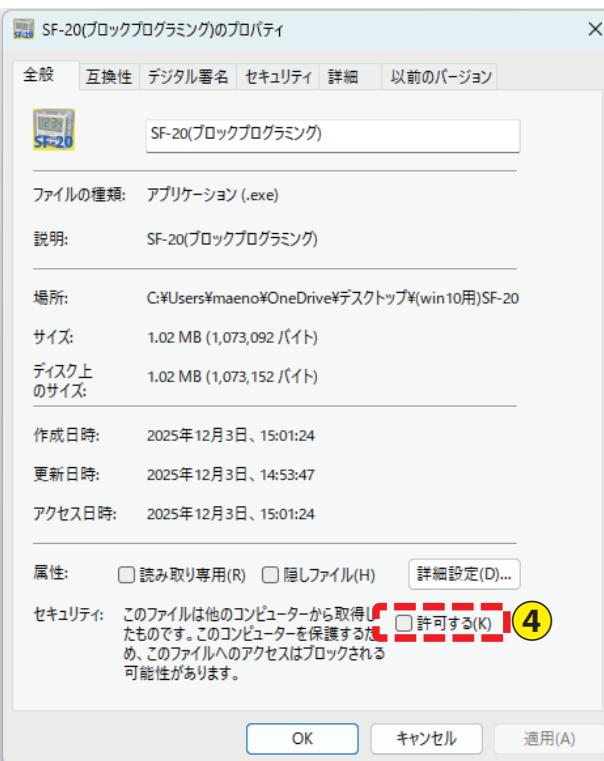
名前	更新日時	種類	サイズ
BP	2025/12/03 15:01	ファイル フォルダ	
Data	2025/12/03 14:54	ファイル フォルダ	
HTML	2025/12/03 11:17	ファイル フォルダ	
Img	2025/12/03 11:17	ファイル フォルダ	
Network	2025/12/03 14:54	ファイル フォルダ	
Azuki.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	136 KB
HidSharp.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	87 KB
NewtonImageKit.Common.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	32 KB
NewtonImageKit.Effect.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	188 KB
NewtonImageKit.File.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	760 KB
NewtonImageKit.Scan.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	156 KB
NewtonImageKit.Win.ImageKit.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	752 KB
ProgramCheck.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	9 KB
SF20	2025/12/03 14:53	アプリケーション	2,931 KB
通信テスト	2025/12/03 14:53	アプリケーション	20 KB

名前	更新日時	種類	サイズ
BP	2025/12/03 14:54	ファイル フォルダ	
HidSharp.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	87 KB
ICSharpCode.SharpZipLib.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	196 KB
SF-20(ブロックプログラミング)	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	1,048 KB
SF-20BP	2025/12/03 14:53	アプリケーション	79 KB

①ZIP を解凍したフォルダを開く

ダウンロードした ZIP を展開し、フォルダを開きます。

ブロックプログラミングは『BP』 フォルダに入っています。



名前	更新日時	種類	サイズ
BP	2025/12/03 14:54	ファイル フォルダ	
HidSharp.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	87 KB
ICSharpCode.SharpZipLib.dll	2025/12/03 14:53	アプリケーション拡張	196 KB
SF-20(ブロックプログラミング)	2025/12/03 14:53	アプリケーション	1,048 KB
SF-20BP	2025/12/03 14:53	アプリケーション	79 KB

②『SF-20(ブロックプログラミング)』 実行ファイル (.exe)

“アプリケーション”を右クリックする

③「プロパティ」を選択する

右クリックメニューから [プロパティ] を選択します。

④「許可する」にチェックを入れる

プロパティ画面の「全般」タブ下部にある「許可する」に

チェックを入れ、[OK] をクリックします。

⑤プログラムを再度実行する

ブロックが解除され、アプリケーションが正常に起動できます。

なぜ「許可する」が必要なのか？

Windows はダウンロードした ZIP ファイルに安全確認情報 (ZoneID) を付与します。

ZIP を解凍すると、その情報が内部の EXE ファイルにも引き継がれるため、SmartScreen により実行が制限されることがあります。] 信頼できるファイルであれば「許可する」にチェックを入れてブロック解除を行う必要があります。

OK

キャンセル

適用(A)

④